

シドニー日本クラブ
第 477 号

JCS
だより

11 月号
2025



**Pass the Batonの千羽鶴を広島に！
大きく成長したJCS40周年の桜の木**

JCS日本語学校三校がオープンデーを開催

キネマ倶楽部◎万引き家族

翔け！マイグラント！◎英語勉強法(4)英訳

江戸めがね◎花束の話

理事会から

●2025年10月定例理事会 10月1日(水) 7:00pm-9:00pm (zoom)

渡部会長、コステロ副会長、リヒター会計担当理事、ホジキンソン理事、斉藤理事、阿部理事、葛西理事、林専門理事、マーン専門理事、近藤専門理事、多田会計監査、松隈事務局長、チャーカー相談役、神田領事 (欠席:水越、堀場、小柳)

●会員世帯数:341世帯(一般67世帯・学校274世帯) ●次回理事会:11月5日(水)

◆チャットウッド日本祭りの総括

- ・土曜日開催と比べると、今回の日曜開催は人出が少なかった。ステージ担当としては日曜開催の方が、日中通して安定した人出だった。
- ・次回から葛西哲也理事が写真を担当する。
- ・パフォーマーの申請書に、写真の撮影・公開に同意する項目を追加する。ボランティアにも同意してもらう。
- ・JCSフェイトのパフォーマーにも同意してもらう。

◆カウラ桜祭りと追悼式典

渡部会長が、カウラ桜祭り & カウラ戦没者墓地での追悼式典に参加(JCSだより10月号参照)

◆総領事館からの連絡

○注意喚起

金融機関等を装ったメールが増えており、振込詐欺の被害が世界中に増えています。十分お気をつけください。
※その他の領事情報は本誌9ページを参照ください。

◆今年の忘年会について

今年は12月3日(水)の理事会終了後に、理事のみで忘年会を行う。食べ物を手配し、飲み物は各自持参する。

◆その他

○ダンス校フェイトの出し物について

恒例の豚汁は今年で終了。来年は綿菓子など検討中。

○ベンディゴ/バンク担当者との面会について

祭りの支援に関する話を予定。11月理事会で伺う。

◆学校関係

●シティ校:15クラス、生徒数203名、136世帯

晴天に恵まれ大盛況にて運動会を終えました。子ども達はもちろんのこと最後の競技では、保護者も綱引きに参加し盛り上がりました。親子で素敵な笑顔が溢れる1日となりました。春休みを迎え10月19日から4学期がスタートします。初日は、真鯛組、カンパチ組は、継承後教育における文学教育のために開発された教育実践の一部として繋生語俳句ワークショップを行います。2週目には、来年の新・編入生向けのオープンデーを開催します。来年に向けてのクラス編成や教員・委員の確保の準備を始めております。

●ダンス校:11クラス、生徒数138名、94世帯

3学期後半は各クラスの調理実習が4週間に渡って行われました。日本の食文化に触れ、馴染みのある食材、料理、形式を座学ではなく自身の体を通して学ぶことは、基本的な調理、衛生管理、実践的な知識から始まり、心身の成長として、達成感、思考力、食への感謝、協調性、自信に繋がりますが、食中毒、アレルギー、安全性の配慮、時間と準備の負担、授業の遅れなどの不安もあります。保護者、教員、役員の協力で実現している調理実習。賛否あり



ますが、最善を尽くし、子供達が楽しそうに取り組む姿と成長が見られることで、多数の方がやって良かったと思えるようです。調理実習の傍らで、代表と教務先生役員は、教員面談、採用面接、模擬授業などを行っていました。教員が1人退職することになりましたが、幸い保護者に教員経験のある希望者がいたことでスムーズに採用が決まりました。その他の教員は来年も継続してくださいます。アシスタントとの相性も良く、その人がいてくれるなら続けられます！というほどでした。アシスタントチームに感謝です。クラス編成や、教員交代による引き継ぎ、教科書やドリル調整など、多々の課題はそれぞれの役員の大きな努力の末、先日やっと思積もりが済んだところと解釈しております。

また、4学期のオープンデーと体験入学に向けて、多数参加希望者がいる中各クラスの定員もあるので、各生徒の日本語レベルによる調整が必要になりそうです。

そしてもう一つの一大イベントの年末発表会会場問題ですが、イベント係が他の場所の手続き中でしたが、最終的に、やはりダンス校のいつものホールが使えるという事になりました。手続き途中の場所はキャンセルし、通常通り現地校での開催となります。

年末発表会、クリスマス、年末年始…バタバタと毎日が、一年が過ぎていきます。今期は代表に就任した事により、校内の景色が今までとは違う見方になりました。先生方、保護者の皆様と役員で力を合わせて師走を乗り越え、子供達の達成感に満ちた笑顔がみられるのが楽しみです。

●エッジクリフ校:5クラス、生徒数58名、44世帯

三学期最大のイベントが第2回の運動会の開催でした。昨年に続き大成功でした。生徒達は運動会を心待ちにしていました。昨年の反省をふまえ、全体練習の時間を作り運動会に備えました。昨年と違う新しい競技を取り入れて、さらに運動会が盛り上がるよう計画してきました。その結果の大成功でした。この経験を生かして、来年はさらに充実した内容の運動会を目指します。四学期はJCS日本語学校三校のオープンデーがあります。エッジクリフ校も第2週の10月25日にオープンデーを開催して、来年度の新入生の体験入学を行います。多くの子の入学を期待しています。

Pass the Batonの千羽鶴を広島に！

8月に戦後80周年記念イベント「Pass the Baton」を行った際、多くの方が折り紙で鶴を折ってくださいました。10月5日に、Crows Nest Centreにて、その鶴をまとめて千羽鶴として仕上げる作業を行いました。

JCS会員の新野令賀さんをはじめ、渡部会長、チャーカー相談役、リヒター会計、マーン本誌編集長、林理事、斎藤理事が作業に参加しました。この千羽鶴は広島へ送られます。講演をしてくださった小倉様と補助をしてくださった稲葉様が、JCSの代わりに千羽鶴を原爆の像に捧げてくださるそうです。



皆さんが折ってくれた折り鶴が、見事な千羽鶴になりました。



大きく成長したJCS40周年の桜の木

今年のカウラでの桜祭りに参加した際の二日目の朝に、2023年のJCS40周年の際に植樹した桜の木の成長を確認し写真に撮って参りました。

植樹した時の写真、昨年の桜祭りでの写真と比べると、今年は枝もかなり広く伸びて咲いている桜の花の数もかなり増え、桜の木らしくなっているのを確認でき、来年以降の更なる成長が楽しみとなりました。カウラに行かれる際は、是非カウラ捕虜収容所跡地の前に咲いているJCSの桜の木の成長をご覧くださいませ。（渡部）



今年の写真(2025年9月28日撮影)



昨年の写真(2024年9月29日撮影)



40周年記念植樹式の写真(2023年4月15日撮影)



親睦の会 だより

会員
募集

シドニー日本クラブ会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、和食弁当を食べながらの情報交換後には、様々な趣向を凝らした内容で楽しんでいます。遠足や野外活動も行っています。

JCSシドニー日本クラブの会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ビジター也大歓迎です。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

親睦の会役員

会長：飯島浩樹

事務局長：岩崎麻由

会計：長谷川潔

ボランティア：斉藤なお子

■臨時総会開催

新会長、事務局長、会計を選出

林さゆり会長の辞任表明を受けて、10月11日(土)、「親睦の会」臨時総会を開催しました。

議長の渡部重信JCS会長を含め、会場に集まったメンバーと委任状により、林会長の辞任と新執行部の就任が承認されました。これにより、新しく会長に飯島浩樹、事務局長に岩崎麻由、会計に長谷川潔(きよし)が選ばれました。(※敬称略)



「親睦の会」臨時総会に参加したメンバー

新会長の飯島浩樹は山梨県生まれで在豪32年。主にテレビジャーナリストとして活動し、これまでJCS主催の戦後80周年記念イベント「Pass the Baton」や「祭りinシドニー」などのイベントを取材、日本のテレビ局のニュースで紹介するなどしています。

新事務局長の岩崎麻由は、神奈川県出身でシドニー在住の俳優・プロデューサーです。今年8月下旬からシドニー市内で上演された2人芝居「父と暮らせば(Face of Jizo)」での熱演をご覧になった方も多いかと思います。

新会計担当の長谷川潔は千葉県出身。当会メンバーの中野邦子先生と小原流の生け花デモンストレーションを各イベントで行っています。現在は不動産会社勤務で、JCS会員歴20年です。3人ともこれから親睦の会を楽しく盛り上げていきたいと考えていますので、今後ともよろしく願いいたします。

■2025年11月11日(火)18:00～

新作「能」『長崎の聖母』オーストラリア初公演優待鑑賞企画

この作品は、遺伝子・脳科学者として知られる多田富雄氏による新作「能」で、原爆からの復活と再生をテーマに、被爆地・長崎の浦上天主堂を舞台にしたものです。公演は11月11日(火)午後6時より、シーモアセンター(Seymour Centre)にて開催。「親睦の会」では、この作品の特別割引での鑑賞を予定しています。詳細は追って事務局からお伝えします。

■2025年11月15日(土)12:00～14:30

『親睦の会2025忘年会』チャッツウッド・ドガティセンター

これまで18年間「親睦の会」を支えてこられた林さゆりさんへの感謝と、新執行部とメンバーの顔合わせを兼ねた忘年会を行います。

世界で様々なことが起こった2025年ですが、最新の日本の外務省統計では、オーストラリアの在留邦人数が中国を超えて、世界で2番目となりました。また日本を訪れるオーストラリア人も今年100万人に届こうとしてい

国・都市別の海外在住日本人の人口ランキング			
ランキング	国(地域)名	在留邦人数	前年比
1	米国	413,380	-0.30%
2	オーストラリア	104,141	4.30%
3	中国	97,538	-4.20%
4	カナダ	77,292	2.90%
5	タイ	70,421	-2.60%
出典：外務省「海外在住邦人数調査統計」2024年10月1日現在			

ます。日豪両国関係も益々緊密化する中、長年この地に暮らす「親睦の会」メンバーの存在意義も大変重要になってきていると感じます。今回の「忘年会」では、メンバーとその家族、JCS会員のほか会員以外も参加できる交流の場にしたいと考えています。

会費は「親睦の会」会員\$5、JCS会員\$10、非会員\$15で食事付き。アルコール類などドリンク等は持ち寄りになります。申し込み、問い合わせは、

shinbokunokai25@gmail.com 事務局岩崎まで。

※(お知らせ)先月号の本誌でお伝えした「朗読の会」の開催は、諸事情により来年以降に延期となりました。

(文責 飯島浩樹)

JCSのクラブライフ



シドニーソーラン踊り隊

毎週土曜日に小学校の体育館で練習をしています。

私たちの踊りが少しでも日豪文化交流に結びつくようにと様々なイベントで踊ります。一緒に踊りたい方、大歓迎！お気軽に練習にご参加ください。

練習日：毎週土曜日2時～3時

場所：Camberay Public School (Palmer Street, Cammeray)

お問い合わせは、Email: jcs.soran@gmail.com まで。

<http://sydneySORAN.wix.com/dancetroupe>



JCSフラアロハ 笑顔で踊るハワイアンダンス

体を動かす気持ち良さを感じながら、人と人との触れ合いを大切に、明るく楽しく美しく、健康第一をモットーに和気あいあいと踊っています。毎年数回のパフォーマンスでは思い切りオシャレなハワイアンスタイルで笑顔で踊ります。

ご参加されませんか？

練習は毎週火曜日11時～12時30分 Chatswoodで行っています。お問合せは、Email: jcshulaaloha@gmail.com

フラアロハ事務局までお気軽にどうぞ。



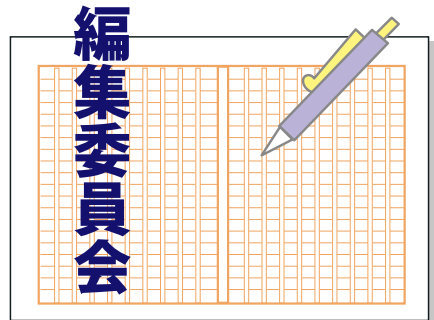
JCSソフトボール部

ソフトボール大会は毎年5月と11月の2回開催しています。2023年春季大会3位、2024年秋季大会2位、春季大会優勝！

JCSソフトボール部では女性選手を急募中です！一緒に優勝目指しませんか？家族で応援に来ませんか？興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール: adasada@hotmail.com または、

電話: 0402-048-570 (ソフトボール部部長 ^{さだのり} 安達定儀)



編集委員会

シドニー日本クラブの会報誌「JCSだより」を編集しています。会員からの投稿をお待ちしています。

また、誌面作りに興味のある方、一緒に会報誌を作りませんか？

興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール: k.murn@jcs.org.au (JCSだより編集長 マーン薫)



教育支援委員会

シドニー日本クラブの日本語学校三校の運営に関する支援を行っています。その他、継承日本語教育についてのセミナー活動なども行っています。

お問い合わせは、以下までお願いします。

メール: jcs@japanclubofsydney.org または、

電話: 0421-776-052 (JCS事務局)



JCS日本語学校シティ校 JCS Japanese School City

学校 Ultimo Public School (47-53 Jones Street, Ultimo NSW 2007)

連絡先 PO Box 902, Glebe NSW 2037 電話 0452-141-618 授業 毎週土曜日／幼児部:9:30～12:10、小学部:9:30～12:15

Email student.city@jcs.org.au Web <http://cityschool.japanclubofsydney.org/>

1年間の総まとめ、四学期を迎えて

学校行事の多かった三学期を無事に終え、気が付けば四学期がスタートいたしました。学習の総まとめや復習を行いながら翌年の準備を進めていく大切な四学期。普段の生活の中では圧倒的に英語に触れることが多い子どもたちにとって反復練習や様々な方法で理解を深めていく学習は必要不可欠です。各先生方が子どもたちの学びやすいように様々なアプローチをしてくださっているのが宿題のプリントや課題からもとても伝わってきます。年度末に向け慌ただしい時期となりますが、みんなが元気に終了式／卒業式を、迎えられよう、保護者の皆様と協力しながらしっかりとサポートしていきたいと思っています。

クラス紹介 ほたて組



ほたて組の子供たちは、Y3～PSに通う男の子10名と女の子3名のクラスです。日本語学校で学ぶのが2年目3年目になる子供たちです。1学期にみんなが教室に集まったときは、すでに和気あいあいとした雰囲気があり大変仲良く賑やかにクラスがスタートしました。

このクラスでは、一学期に1年生上の教科書を受け取り、今までに学んだ ひらがな全般の復習を行いました。あいいうえお表を見ると、歌「あいいうえお」を元気よく歌いだし、絵カードゲームを行うと毎週違う子が勝ち お互いがよい刺激になり日本語を吸収していました。また、「節分」「ひなまつり」などの行事の時は、工作で自分のアイデアをプラスした個性豊かな素敵な作品を制作しました。そして、日本語の「読み、書き、話す、聞く」の力の定着は、授業と宿題をコツコツとご家庭で取り組み、伸びていました。学校行事「お買い物市」で思う存分お買い物を楽しみ、「こどもの日」「七夕」などで大好きな工作に没頭し、日本語を学ぶ時間と日本文化に触れる時間を楽しみました。そして、身近なことを短文で書くことに始まり、お母さんの一日を書くことや、自分の好きなことを考えて書くことができるようになりました。三学期には、スピーチ発表会という大舞台で堂々と自分の「好きなこと」について発表することができ、メダル授与の時に 観客席にいた お父さん、お母さんたちに満面の笑みで手を

振っている姿は、感動的でした。

このように子供たちが日本語学校に通い 日本の文化を通じ日本語の学びを深め、将来、自分のバックグラウンドを誇りに思い、豊かに伸び伸びと生きていくことに繋がってってくれることと思います。

(担任:大川麻美)

クラス紹介 かんばん組

カンパチ組はJCSシティ校の全15クラス中、上から二番目のクラスです。Y7からY11までの生徒17名が在籍しており、年齢はもちろんのこと日本語のレベルも様々な生徒達が、落ち着いた雰囲気の中で学習しています。いわゆるティーンエイジャー、思春期の子ども達が日本語学校をどのように捉え、忙しい学校の課題や課外活動と両立させているのかを毎週の授業で見ながら、課題や宿題を考え試行錯誤してきました。



三学期には校内スピーチ発表会が開催されました。発表テーマを皆で決め(今年は「将来の夢」になりました。)、原稿の準備には数週間をかけました。執筆がなかなか進まない生徒達も発表会が迫ると私の心配をよそに原稿を完成させ、教室の隅などで自発的にクラスメイトと読み合い練習していました。当日は保護者の方も見守る中緊張の様子もなく自信に満ちた発表ができましたので、生徒の底力に驚かされました。「まだ将来どんな仕事をしたいかの夢がない」という生徒も数人いて、ではこれからどうやってそれを見つけるかについて話したり、死ぬまでにやりたいバケットリストを発表した生徒もいます。「スポーツ選手になって世界で活躍したい」と、おそらくいつの時代にも「共通」した夢を話す生徒がいる一方で、多くの生徒が「沢山お金を稼ぎたい、そして好きなことがしたい」と将来の夢にお金を意識した文面を書いていました。情報にあふれ物質的に豊かな環境を象徴しているものかもしれませんね。

(担任:長谷川裕子)



JCS日本語学校ダングス校 JCS Japanese School Dundas

学校 Dundas Public School (85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117)

連絡先 PO Box 1072, Dundas, NSW 2117 授業 毎週土曜日/9:30~12:15

Email jcs-jpschdundas@live.com Web <http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html>

クラス紹介 たんぽぽ組

今月は、「たんぽぽ組」の紹介です。今年のたんぽぽ組は、Y2~Y4の男子4名、女子8名、計12名の生徒で構成されています。授業では、「こくご二年上下」の二冊の教科書を中心に「声に出して読むこと」に力を入れて授業を進めています。子ども達は、宿題として導入している「教科書音読カード」「漢字音読カード」の二種類を毎週の家庭学習に取り込み、親子でしっかりと取り組んでもらっています。



一学期は、一年生の学習内容(漢字・ひらがな、カタカナ)の復習を中心に授業を進めてきました。主な行事は、かざぐるま組との書道の合同授業です。昨年、担任をしていただいた宮本恭子先生の御指導のもと、子ども達は一生懸命に腕を使って半紙の上に大きく筆を運び「花」という字を清書しました。

二学期、三学期には、国語の教科書以外に算数や社会の教科も導入し、物の重さや長さの単位、日本の学校給食や地図を用いての特産物や物流などを学習しました。主な行事は、①「母の日」に併せての作文発表。子ども達が初めて書いた長い作文に、お母様方の目からきらりと光るものが溢れておられました。②運動会(6月14日)。真冬の運動会は初めてのことでしたが、お天気にも恵まれ、赤組、白組が引き分けて終わり、大興奮の運動会でした。



2学期の運動会

③百人一首の特別授業(8月16日)。仮名遣いが異なることや濁点がないことなど、初めての「百人一首」の授業は、学ぶことが多くとても楽しい授業でした。④調理実習(8月31日)。材料を計るところから全で一から作る「手打ちうどん」に挑戦しました。様々な形や長さの麺が出来上がりましたが、いずれも大変美味しく出来上がり、み

んなで完食しました。⑤「敬老の日」に併せてのお手紙書き。日本のおじいちゃん、おばあちゃんにそれぞれの想いを込めたお手紙を出しました。海外に住む孫から届いたお手紙に、それはそれは喜んでくれた…との御報告を受けました。通常の教科書やドリルに沿った新出漢字を学習するだけでもとても大変なことです。子ども達は、同時進行でこれらの行事を全てやり遂げてくれました。

さて、四学期の主な行事は、校内発表会と年賀状書きです。今年は、今まで触れたことがない百人一首を学習したことで、それに因んだ日本語の素晴らしさを伝える内容の発表を計画しております。教科書も終盤を迎え、「スーホの白い馬」がメインとなります。色々な復習問題



1学期の書道の合同授業

を取り入れながら、この一年で学習したことをまとめ、校内発表の準備、練習を進めていく予定です。

クラス運営に関しては、たんぽぽ組では、「お小遣い制度」を導入し、クラスの決まり事を始め、「誰かの役に立つこと。今、自分にできることは何か？」を念頭に自ら進んで学習する制度を設けています。たんぽぽ組独自のお金を貯めることで、報酬として「ホリデー中の宿題無し」、「お菓子や文房具と交換」、「テスト無し」といった様々な特典を獲得することができます。子ども達には、ゲーム感覚でこの特典獲得の「お小遣い稼ぎ」に精を出してもらいつつ、日本語の学習にも精を出してもらっています。

ご家庭でのサポートもしっかりと定着をしており、子ども達の意欲的な学習の取り組みもあって、予定通り授業を進めることができていると思います。最終学期となりましたが、校内発表会に向けて、たんぽぽ組一丸となって最後まで駆け抜けていこうと思います。全ての行事を支えてくださっている学校役員の皆さま、頼もしく、遅い子ども達と保護者の皆さまには感謝の気持ちで一杯です。

(担任:行武 敦子)



JCS日本語学校エッジクリフ校 JCS Japanese School Edgecliff

学校 Ascham School (188 New South Head Road, Edgecliff NSW 2027)

連絡先 PO Box 1171, Potts Point NSW 1335 電話 0413-430-726 (授業日13:30-17:00) 授業 毎週土曜日/14:00~16:35

Email jcs.edgecliff@gmail.com Web <http://edgecliff.japanclubofsydney.org>

2026年度新入生向けオープンデイ開催

10月25日(第2週目)に、来年度の入学を希望するお子さまたちを迎え、体験授業を行いました。初めての学校体験ということで、少し緊張した様子も見られましたが、皆それぞれのペースで楽しく授業に参加してくれました。新しい環境に慣れるには時間がかかるかもしれませんが、子どもたちの成長は本当にあっという間です。きっと来年の新学期には、ひとまわり大きく成長した姿を見せてくれることでしょう。来年度、エッジクリフ校の新しい仲間として皆さんに再会できる日を、先生・スタッフ一同、心より楽しみにしています！

エッジクリフ校自慢の先生特集★第3弾★

原 志奈先生

Q: ゆきな先生って、どんな先生？

生徒1: 「いつも元気！」

生徒2: 「やさしいよ！」

生徒3: 「ゆきな先生、好き！」



子どもたちが毎週楽しみにしているのが、元気いっぱいのゆきな先生の授業です。日本では小学校の先生として活躍されていたゆきな先生。現在はシドニーで幼児教育を学びながら、忙しい毎日の中でも子どもたちのために、楽しく学べる授業を工夫してくれています。

英語環境の中で育つ子どもたちが日本語に親しめるようにと、昔話や流行の歌、ダンスなど、さまざまなアプローチで日本語の魅力を伝えてくれています。昨年のお楽しみ会では、子どもたちと一緒に『ソーラン節』を力強く披露し、保護者の皆さんから大きな拍手をいただきました。

また、毎週の工作の時間も子どもたちに大人気！授業テーマに合わせた「作って遊べる」作品を準備してくださるので、授業後には手作りの作品を大事そうに抱え、笑顔で保護者のもとへ駆け寄り遊んでみせる姿が見られます。

どんな時も明るく前向きに「大丈夫です！やってみましょう！」と笑顔でクラスも学校をも引っ張ってくれるゆきな先生。自分の勉強や授業準備で忙しくても、常に周りに気をつかって、誰かが困っていると静かに優しく手を差し伸べてくれるのもゆきな先生です。そんな若いのに大きな器を持っているゆきな先生の存在が、この機会に、エッジクリフ校にとってかけがえのない存在であるゆきな先生にエッジクリフ校運営委員一同感謝を送ります！



総領事館からのお知らせ

※在シドニー日本総領事館からのメールマガジンの抜粋です。総領事館からメールマガジンが発信されていますので、こまめに最新情報を得るようにしてください。

(1) 電子化した証明書の発給対象となる証明書の拡大

令和7年9月30日以降の申請から、オンライン交付が可能な電子化した証明書(e-証明書)の発給対象が拡大されます。対象の証明をオンラインで申請する場合、これまでどおり紙媒体の証明書を窓口で受け取るか、または、電子化した証明書(e-証明書)をオンラインで受け取るかを選択することができます。これにより、e-証明書の発給を選択する場合には、申請者は在外公館の窓口にも行くことなく証明書を受け取ることが可能となりますので、ぜひご利用ください。詳細は以下のリンクからご確認ください。

<https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/files/100906053.pdf>

(2) 免税手続き等の見直しについて(11月1日より)

- これまでの免税手続きで必要であった「在留証明」、または「戸籍の附票の写し」に加え、「マイナンバーカード」が確認書類として追加されます。

- 同日より、免税手続きは、税込み価格を支払って後から返還される「リファンド方式」に変更されます。

条件:(オンライン上の手続きを実施する店舗において)免税手続きを行い、1店舗あたり5,000円以上の購入が必要です。また、出国時には、購入記録と合致する商品の提示が必須となります。

- マイナンバーカードを持っていない場合は、従来通り在留証明等による免税手続きが可能です。

(3) 戸籍のフリガナの記載

戸籍法の一部改正を含む「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律」(以下「改正法」)が5月26日に施行されました。これまで氏名のフリガナは戸籍上公証されていませんでしたが、この改正法の施行により、戸籍の記載事項に、新たに氏名のフリガナが追加されることになりました。詳細は以下のリンクからご確認ください。

https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/consul_koseki_furigana.html

(4) 国外転出者用マイナンバーカードの申請・交付

昨年5月27日から在外公館における国外転出者用マイナンバーカードの申請・交付業務が開始されました。本件マイナンバーカードの申請対象者は、2015年10月5日以降に国外転出届を提出した日本国籍者(未成年者も含む)となります。具体的な申請・交付方法等についての詳細は以下のリンク先からご確認ください。

https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/my_number_card.html

(5) 「DV被害者支援のための相談窓口」のお知らせ

当館は、当地でDV被害者等を支援する団体「Bonnie Support Service Ltd」と提携し、ドメスティック・バイオレンス(DV)で悩んでいる邦人のための相談窓口を開設しています。対象はNSW州にお住まいの邦人女性(及び子供)で、相談者は日本語によるサービスを受けることができます。DV被害でお悩みの方は、まずは下記相談窓口までご相談ください(NSW州以外の地域にお住まいの方については、情報提供やお近くの相談機関のご紹介を行います。)。詳細は以下のリンク先からご確認ください。

<https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/japanese/consul/20230828dv.pdf>

(6) 在留届と「たびレジ」に関するお願い

外国に3か月以上滞在する日本人は、最寄りの大使館や総領事館等に在留届を提出することが日本の法律で義務付けられています。在留届は、災害時の安否確認のために使用しますので、届出内容に変更(住所や同居家族の変更等)が生じた場合には変更届を、帰国の際には帰国届をご提出いただくようお願いいたします。詳細はhttps://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/consul_residence_report.html からご確認ください。

また、3か月未満の旅行や出張などの際には、海外滞在中も安全に関する情報を随時受けとれるよう「たびレジ」にご登録をお願いいたします。詳細は以下のリンク先からご確認ください。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

総領事館からお願い(在留届の提出)

外国に3か月以上滞在する日本人は、最寄りの大使館や総領事館等に「在留届」を提出することが義務付けられています。大規模な災害が発生した場合など、当館では、オーストラリアの関係当局に連絡を取って邦人の被害について確認をする一方、在留届を確認して該当地域にお住まいの方に、直接ご連絡して安否を確認することがあります。在留届は、このような災害時の安否確認にも使用いたしますので、届出内容に変更(住所や同居家族の変更等)が生じた場合には「変更届」を、帰国の際には「帰国届」をご提出いただくようお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>



佐藤至子

第128回 花束の話

大きな花瓶に入っている何種類もの切り花のなかから好きな花をいくつか選んで、お店の人と相談しながら花束をつくってもらうのは楽しい時間である。

東京も朝晩はひんやりした空気が感じられるようになってきた。これからだんだん寒くなるが、花束を買うにはちょうど良いかもしれない。夏の暑さのなかで、美しい状態で花束をキープするのは至難のわざであった。

これまでに最も印象に残った花束は何か？

それはシドニーで、私があるお宅に招かれた時に持っていた、ガーベラの花束である。決して大きな花束ではなかった。印象に残っているのは、ガーベラの花の裏側、花と茎をつなぐ萼(がく)の部分に細い針金が巻いてあり、それが花をささえていたからだ。そんなふうに針金が巻かれている花を見たのは初めてだったので、少し驚いた。

ガーベラの花は小さな太陽のように力強い。それだけに、元気をなくすと一気にさまにならなくなる。この針

金のささえがあれば、萼が弱くなくてもしばらくは形を維持することができると思われた。実際にどの程度の効果があったのかは確かめられなかったが。

束ねた切り花を贈り物にする習慣が日本でいつ頃定着したのかはわからないが、明治期以降であろうか。江戸時代の『遊子方言』(1770年刊)には二十歳ぐらいの男性がお供の男に「生花(いけばな)」を持たせて歩いてくる場面がある。この男性は伯父の家に行こうとしているのだが、「生花」の具体的な描写がないので、今わたしたちが考えるところの花束のような形をしているのかどうかはわからない。

* * *

現代俳句協会の「現代俳句データベース」で「花束」が詠まれている句を検索したところ、次の句に出会った。

唄ひ出しさうな花束鳥ぐもり 前田典子

「唄ひ出しさうな花束」に味わいがある。花はスイートピーか、チューリップか、あるいはガーベラかもしれない。花束を見ている人の高揚感が伝わってくるような句である。

日本に来ていた渡り鳥が北の方へ戻っていく頃の曇り空をいう「鳥ぐもり」との組み合わせも良い。曇り空だからこそ、花束が映えるのである。花束の唄が聞こえてくるような気がするのである。

私のドリームホーム ②1



リフレッシュして4週間のアメリカ旅行から帰ってきました。3年前まで住んでいたサンフランシスコにはたくさんのカルフォルニアバンガローという型式の家があります。シドニーの我が家も同じ形なので何だかとても嬉しくなりました。シドニーなのに何故にカルフォルニアバンガローと思いましたか？1920年代には大分流行したようです。

アメリカから戻り数週間、なんと出発前に提出していたカウンスルへのリノベーション申請書が受理をされ承認されました。最速で2カ月で承認されたことになるのは、私達本人はもとよりアーキテクト自身も吃驚していました。こうなるとリノベーションを施工してくれるア

ンダーピンスペシャリストのビルダーとの話し合いをしなければなりません。見積もりを出してもらってから実に半年以上たっていましたが、アーキテクトとビルダーに来てもらい、どこが気になるひび割れのかなどを確認していきます。

現在ビルダーは他に2軒のリノベーションを手掛けているということでしたが、気軽に9週間の仕事でクリスマス前までには終わっているよ、とはいうものの待てど暮らせど連絡はなく、結局、年内に着手することはできず翌年に繰り越してしまいました。

2023年年末にはリテイニングウォー道路に向けた壁はどういった材質のものにするのかという選択肢がでてきました。ご近所さんを見てみると、縦の木でできた壁、横に木を渡した壁、鉄網の壁、レンガの壁、レンガにペンキを塗った壁、レンガ或いはブロックにレンダをしペンキを塗った壁、そんな中でも一番気に入ったのはサンドストーンでできているダブルカーポートの壁です。私達も同じような材質の壁を希望したところ、とんでもない値段をビルダーが持ってきました。私達の当初の予算をはるかに超えた目の飛び出るもので、全てサンドストーンにすると最初の予算を軽く100万ドルほど超えていたのでした。

(マイホーム)

大きな声では 言えない話



子供と大人、群れでも違う動物の名

海外に長く住んでいると、英語も自然に上達するのだろうか？と日本に住んでいる友達はみんな、そう思っています。いえいえ勉強してないと無理ですよ。子供が小さい時に勉強をみていて思いました。英語で動物は、子供と大人で呼び方が違うのだ！へえ～！

- ・ うさぎ Rabbit/Bunny
- ・ カンガルー Kangaroo/Joey
- ・ 鹿 Deer/Fawn
- ・ 馬 Horse/Foal
- ・ 羊 Sheep/Lamb
- ・ ガチョウ Goose/Gosling
- ・ 豚 Pig/Piglet



HorseとFoal

動物が群れになると英語が変わるの？

- ・ a pride of lions(ライオンの群れ)
- ・ a gang of turkeys(七面鳥の群れ)
- ・ a tower of giraffes(キリンの群れ)
- ・ an army of frogs(カエルの群れ)
- ・ a flight of swallows(ツバメの群れ)
- ・ a gaggle of geese(ガチョウの群れ)
- ・ a game of swans(白鳥の群れ)

と、今だに知らない英語がいっぱいで、「大きな声では言えない」です。



子どものSNS利用を禁止

「オーストラリアは、16歳未満の子どものSNS利用を禁止する法律を世界に先駆け国家レベルで定めた」と記事に載っていましたが、今年12月施行に向けて、どのような準備が進められているのでしょうか？

最近では、芸能人でなくても自分で映像を撮って自分を売り込んだり、特技を披露したり様々なSNSが若い人達にも浸透しています。その人達にはファンもいるでしょう。年齢は？勿論16歳以下の子供達もいます。それをどのように？規制するのか？保護者と一緒に映るなら良い？とか、非常に難しい。

9歳で30億円を稼いでいる子供のユーチューバーがいるのを見たことがあります。彼は、子供向けの科学実験をしてYouTubeの動画に載せていました。

今回のSNS利用禁止の件は、YouTube、インスタグラム、TikTokも含まれるそうです。良い面、悪い面、両方ありますね。あなたは、どちら派ですか？みんなで考え発言する場があると白熱した意見がたくさんできそうです。皆さんも、自分の意見をこの記事に載せてみませんか？

スポーツ天国 No. 190

NRL Grand Finalについて

毎年開催されるシドニーでのスポーツイベントとして最大なのが、NRL(ラグビーリーグ) Grand Finalだと筆者は思っています。(ですよね?) 今年は、Brisbane Broncos が Melbourne Storm を26-22で勝利して、NRLの王者となりました。

ここで問題なのが、両チームともNSW州以外のチームがシドニーでの対決。昔は、NSW州のみでリーグ

が行われ、グランドファイナルは必然的にシドニーとなっていました。近年、QLD州やVIC州(再来年はWA州からも加入)となり、グランドファイナルの会場をシドニーでも良いのか問題が再燃する可能性もあります。(地元チーム応援の日帰り観戦は不可能)

VIC州で人気のあるAFLも同様な問題を抱えているようですが、州ごとのチーム数を考えると、現状維持は仕方のないことかもしれませんね。(ぴか)

会員の皆さんからの情報も受け付けています。Eメールは、kenerit@gmail.comです。よろしくお願いします。(ぴか)





万引き家族 (Shoplifters)

監督・脚本：是枝裕和

主演：リリー・フランキー、安藤サクラ、樹木希林 他

ジャンル：ドラマ、2018年作品、120分

受賞歴：カンヌ映画祭パルムドール受賞、日本アカデミー賞最優秀作品賞他、多々受賞。

●作品概要

今更ですが…今回はあえて2018年製作のこの作品に注目。都会の高層ビルの谷間にある落ちぶれた平家。そこに暮らす「家族」は、血の繋がりを問わず、なりゆきで転がり込んだ者同士が肩を寄せ合って生活している。祖母初枝(樹木希林)の年金で足りない必需品は、治(リリー・フランキー)と息子祥太の連携プレーによる万引きでまかなっている。ある冬の日、治と祥太は、団地で下着のまま凍えている少女ゆり(佐々木みゆ)を見つける。状況を察した治はゆりを引き取り、ゆりによろやく笑顔が戻りかけた頃にある事件が起きる。その後、家族の行く末は…。

感想① 『万引き家族』は、血のつながりがなくとも、心のつながりによって生まれる「家族」の、いびつでありな

がらも温かな日常を描いた作品だと思った。万引きをして生活の糧を得ていることは決して褒められるものではないが、食べていくだけでも精一杯の毎日の中で、助けを必要とする誰かを放っておけないという行為には、絶望を知る人だけが持つ深い人間愛を感じた。

社会的弱者や、虐待・ネグレクトを受ける幼い子どもたち、そしてそれを見て見ぬふりをする周囲の無関心の中で、登場人物たちは肩を寄せ合い、支え合いながら、人間らしいつながりを築いていた。それはまるで、「誰かとつながりたい」という純粋な願いの表れのようなだった。

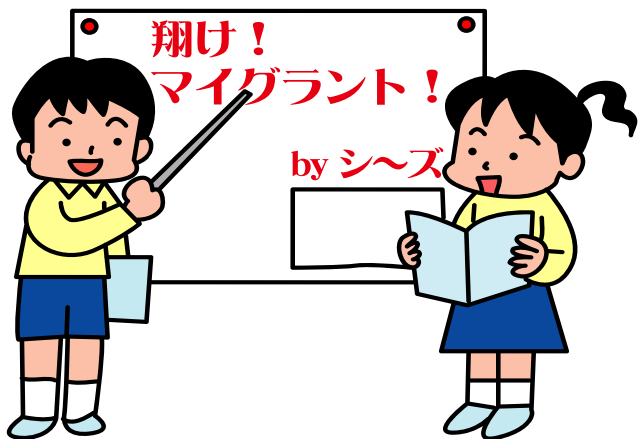
登場人物たちの孤独や過去の傷について多くは語れないが、社会を憎むことも、自らの不幸を嘆くこともなく、静かに日々を重ねる姿が、かえって胸にしみるような切なさを感じさせた。樹木希林をはじめ、リリー・フランキー、安藤サクラの自然で穏やかな演技が素晴らしかった。
(★★★★★ 桔梗)

感想② 社会的弱者を描く問題作。社会から存在しないように扱われる「見えない人々」にスポットを当てた秀作だ。幸せそうに暮らす一見ごく普通の家族、柴田家は、実は、寄せ集めの家族だった。一体本当の家族とは何なのか、と改めて考えさせられてしまう。あの家族は嘘まみれだったが、それでも幸せだったのではないだろうか。危うい絆でつながった人々だからこそ、血縁や法的な「家族」という関係に強く憧れていたのかもしれない。映画の後、心にずっしりきて、しばらく放心状態になってしまったことを覚えている。リリー・フランキーや安藤サクラ、樹木希林をはじめとするキャストの演技がほんとうにすばらしかった。
(★★★★★ ケーエム)

感想③ リリー・フランキーそして樹木希林そして安藤サクラというドリームキャスト、その上、是枝監督だからと期待はしていたが、その期待を決して裏切らない作品。ドキュメンタリータッチで社会の底辺で暮らす人々の日常を淡々とリアルに描いてゆく。「家族」とは何か？またモラルとは？社会の秩序は法律によって保たれ、一見「善と悪」が定められているようにみえるのだが、「はみ出し者同士でも、お互いを思いやり、支え合いながら細々と暮らすことの何が悪い？」果ては「彼らのささやかながら愛おしい生活のためなら万引きも許されるのでは？」などなど、常識を覆すようなとんでもない難題を突きつけてくる傑作。ちなみにリリー・フランキーは実際には家庭も持たず子供もいないようだが、なんでこうも父親役が板についているんだろうか、毎回感心してしまう。

(★★★★★ かっちゃん)





【第46回】

英語勉強法(4) 英訳

前回に引き続き英語勉強法の中で、今回は英訳についてアドバイス。

前回で辞書を使うことから起こる弊害について述べましたが、和訳ではなく英訳はもっとひどいです。日本語の言葉だけで考えて英訳するのでなんともおかしい英語になってしまうのです。これは生徒だけではありません。日本国内で様々な看板や広告、お知らせ等でおかしい英訳になっているのを見たことがありますよね。それはただ一つ一つの単語を和英辞書によって英語にしているだけなので、意味が通じないどころかおかしい表現になってしまうのです。一つの例として、時間的な意味合いの場合の「～まで」と言おうとした時に、“till” “by” の違いを理解していない生徒がとても多いです。“till” は、何かが続いていていつまでという終わりを表すのに比べて、“by” はその時間までには、という期限を表しますよね。これも辞書による弊害の一つですね。

そして一番の大きな弊害は、話し言葉で考えてしまうことです。日本語の話し言葉というのは、ほとんどの場合主語を使わず動詞や形容詞だけで意味が通じてしまいます。例えば、お腹が空いたことを言いたい時は「おなかすいた」だけで主語がなくてもわかってしまう。「私はお腹が空いた状態」とは言わないですよね。でも英語では、“I’m hungry” のように主語＋動詞がちゃんと入っているのです。「つまらない」と言った場合、その物がつまらないのか、自分がつまらなく感じているのかを明確にしなくてもその状況で意味は伝わるのに比べ、英文で、“It’s boring” と “I’m bored” とでは意味が違ってきま

す。日本語思考で考えているので、主語＋動詞そしてその後続く目的語や節などがズレてきて意味不明な文章になってしまうのです。さらに日本語ならではの慣用句を表現する場合は全く意味不明になってしまいます。「〇〇はどうやっていうの？」とよく聞かれるのですが、どのような状況でどのような状態かがわからないと表現できません。まずは日本語で何が言いたいのかを明確にさせるのですが、誰が何をどうした？ どういう時のどんな感じ？などと聞くほど本人もはっきりとわからなくなってしまうことがよく見られます。言わなくても相手に伝わる日本語の会話で考えているからです。

日本語自体は何千何万もの美しい語彙がある素晴らしい言語なのですが、実はとても曖昧で、一つの言葉でその状況に合わせた様々な意味を持っていて、実際に日常的に使う単語は少ないのです。例えば「すみません」という表現は、感謝を表す時(ありがとう)、詫げる時(ごめんなさい)、呼びかけの時(すみませーん、あのー)など様々な状況で使用する表現です。もちろん元々の意味合いとして、相手に時間や手間をかけさせてしまって恐縮している、という相手のことを考える素晴らしいニュアンスの元から成っているので、結局は同じ意味にたどりつく表現ですが、これこそ日本ならではの独特な文化から成り立っている言語なのです。



外国語を学ぶということは、文字だけの問題ではなく文化、習慣なども踏まえて理解しなければなりません。似たような意味でも、その状況や微かなニュアンスなどが変わってきます。一番のポイントは、誰がいつ何をどうしたかと、主語と動詞を明確にし、言葉(単語)だけで考えるのではなく状況を頭で考えることです。まずは日本語をきちんと理解することが重要なのです。そして日本語の本を読みましょう。会話だけで成り立っている漫画ではなく、正当な日本語の本をどんどん読んで日本語の構文を理解します。そして英語の本を日本語に訳さずに英語で考えて読むようにしていくことですね。

秋のことわり Vol.6

パン職人として、写真家として



先月10月の話にはなってしまいますが、今まで完全にセパレートであった写真家としての自分と、パン職人としての自分とを、初めて繋げてみるという企画を立ち上げました。“Southern Crust”と名付けたこの企画は、簡単に言ってしまうと「写真家としてパンを撮る」ということです。しかし、つまらない写真では意味がありません。僕にしかできないこと、を突き詰めた結果辿り着いたのは、パン職人としての目線で、オーストラリア全土からベーカリーを選んだ上、それぞれのシグネチャーブレッドやオーナー／ベイカーを写真家として捉え、今まで知られていない形でオーストラリアを広く紹介する、ということなのです。

その最初のお披露目の場として、東京丸の内にある「日本外国特派員協会(FCCJ)」にて、10月の1カ月間写真展を開催し、また、レセプションにてトークショーを行いました。会場では今回ピックアップした、24の素晴らしいベーカリーで焼かれた、シグネチャーブレッドを写し込んだ900mm x 600mmの作品を展示。それぞれのベーカリーを育む、その土地を表すような場所へ実際にパンを持ち込み、広告写真のようにライティングをして撮影した、高解像度のファインプリントです。

オーストラリアで進化したコーヒー文化のひとつ「フラットホワイト」は皆さんもご存知の通り、今や世界中に広まり、イタリアでも飲まれています。僕の視点では、サワードウを中心としたオーストラリアの生活に根付いたパン文化もまた、独自の進化を続けていると考えています。日本や世界の人々が、オーストラリアに対して持っているイメージに、そのパンというものを付け加え、かつ、この大らかで雄大な自然や、街を絡めて紹介していくことで、かつてないアーカイブが作れるのではないかと思います。

っています。そして、およそ1年半の研究をした上で訪れたベーカリーはどの店舗も、予想を上回る偉大な職人達によって、築き上げられていたのです。

この取材を進めているうちに感じたことは、商業的な取材と違い、僕自身が完全にプライベートで足を運び、パン職人としてアプローチすることで、すべてのベーカリーとの対話において全く壁が存在しない、ということが挙げられます。どこでも歓迎され、粉の話をし、レシピについてディスカッションし、味の話をし…尽きることがないのです。そして数えきれないほどのパンを食べ、オーナーのバックグラウンドストーリーに耳を傾けます。そこからインスピレーションを得たあとは写真家へスイッチし、ロケ地を求めて深夜、夜明け前、時間を問わず広いオーストラリアを走り回りました。場所を決めたら数時間から半日、条件の良いタイミングを待ちます。天候が悪く翌日に持ち越したり、機材を抱えて長時間歩くような場所もあります。

これらのことは結果として、僕が抱いているオーストラリアに関する知識や想いを大幅にブラッシュアップするカタチとなるうえ、パン職人としても素晴らしいコネクションを作り上げながら、知識見聞を大きく広めることとなりました。“Southern Crust”はオーストラリアのパン文化を紹介するというコンセプトなので、今回のリストにAKIPANは入っていません。

パンが紡ぐ縁は、とても芯が温かい。AKIPANは街の小さなパン屋ですが、唯一無二の大きな存在でありたいと思っています。この活動は恒久的に続け、可能な限りアップデートをしていこうと思っています。

サザン・クラスト インスタグラム:southern_crust

Hiroの音楽最高！

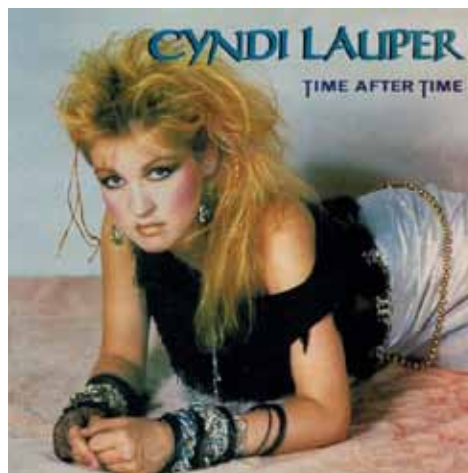


どうも、皆さん！暑くなったり涼しくなったりの天気
に翻弄されているHiroです🌤

今月はよく知られてる80年代の名曲「Time After
Time」です。

シンディ・ローパーの歌う曲として有名ですが、シンディ
とThe Footersのロブ・ハイマンとの楽曲だったのです
ね！グラミー賞にもノミネートされ、複数の映画の主題
曲にもなっているそうです。

そして他の名曲と同様、さまざまなアーティストにカ
バーされております。



意外でしたがいろんな有名日本人アーティストにも
カバーされていたり、驚いたのはマイルス・デイビスにも
カバーされていました！

確かに美しいメロディーライン、美しい歌詞とシンディ
ローパーの印象的な歌声(ロブのバックコーラスがオ
リジナルには入ってる)で多くの人を魅了して、今もなお
若い世代からも愛される名曲ですね…。

これから夏へ突入していくシドニーですが、美しく切
ない80年代ポップスに心を寄せて暑さを乗り切るのも
悪くないと思います！

和太鼓りんどうシドニー15周年記念コンサート

Wadaiko Rindo Sydney 15th Anniversary Student Concert 2025

JCSのお祭りでおなじみの和太鼓りんどうシドニーの
15周年記念コンサートが開催されます。場所はArtarmon
の教会ホールです。ゲストにはメルボルンから和太鼓りん
どうの創立メンバー、アデレードから津軽三味線の只野
徳子さんが参加されます。

日時:11月8日(土) 7:00pm-8:30pm(開場6pm)

場所:10 Carlotta Street Artarmon

料金:\$20,\$15(12-18歳)(12歳以下無料)

チケットは、eventbriteまで→[こちら](#)



ワインの話



「ワインの話」では、リーズナブルなプ
ライスでありながら、クオリティの高いオ
ーストラリアのワインを紹介します。

Sticks Pinot Noir 2024

★★★★☆

Sticksは比較的新しい2001年に
Yarra Valleyで設立されたWineryであ
りながらリーズナブルなプライスで美
味しいワインを数多く生み出している。

Wineryは素晴らしい眺望を持つ
メルボルンの敷地で様々なブドウの
種類のワインを作っている。現在の
WinemakerであるDavid Liは中国で勉
強した後、オーストラリアに来て現在の
ビジネスを担当しているという。

このPinot Noirは濃すぎず、でもコク
があり、舌の上で少し遊ばせておきた
い深さがある。個人的にも優れたPinot
Noirは次の日にもあまり残らず飲みや
すいながらも深みがあるおすすめの
赤ワイン。





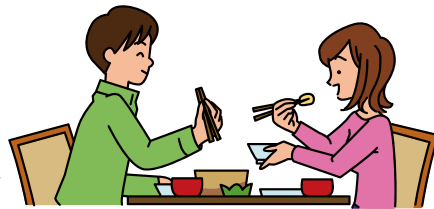
自分にとって忘れることのできない写真、いつも飾っている思い出の写真、二度と撮れないシャッターチャンス写真、大好きな人・有名人・尊敬する人との記念の一枚…など、My Favorite Photoを文章とともに送ってください。



自然と文化が共存する街

9月半ばから4週間、夫とヨーロッパ旅行に行きました。これまでヨーロッパが候補に挙がることはなかったのですが、4週間もあるし趣向を変えたいと思って決めました。訪れた6都市の中でも、特にストックホルムは、人々が洗練されていながらも、みんな友達とローカルが言う通りフレンドリー。写真はキノコ狩りをした時のものなのですが、夕方の霧の中でのキノコ狩りは幻想的でした。目抜き通りにはスウェーデン発祥のファッションブランドがあり、レストランでは伝統料理をミックスしたモダンな料理が味わえるなど、非常に洗練された文化がある一方で、自然と触れ合う時間を大切にする人々。自然と文化が絶妙のバランスで共存しているこの都市はまた訪れたい都市の一つになりました。

外食日記



Sarangi Kitchen and Bar

住所: 47 Good Street, Granville NSW 2142

電話: (02) 8002-1412

予算: \$25

営業時間: 火～日 12:00-22:00、月 17:00-22:00

雰囲気 6、料理 6、サービス 7



今月はGranvilleにあるネパール料理です。駅の南側の方が飲食店も多く栄えていますが、北側に出ると数軒のネパール料理屋が点在しています。今回のお店はgoogleの評価が4.9だったのが訪問した理由です。注文したのは、Buff Choilaのセットです。チョエラは香辛料で和えた焼き肉だそうで、今回のものはバッファローの肉を使っています。肉は一口サイズにカットしていて、チリ、スパイスやハーブでマリネしています。肉は正直なところ、固い方でしっかり噛む必要があり、何回も噛んでいるうちに口の中に辛みが広がりました。付け合わせはChiura(干し米)、Bhatmas Sadeko(炒った大豆)など。

もう一品、Sukuti(スパイスで炒り煮にしたドライタイプの肉料理)という料理があったので、こちらはまたの機会に。



仏教語からできた 日本語 その230

渡部重信
sydneyhongwanji@gmail.com
浄土真宗本願寺派[西本願寺]
オーストラリア開教事務所長



法律Q&A 弁護士に 聞いてみよう 215

主任弁護士 林由紀夫 (H & H Lawyers)

微妙(みみょう)

真の教養人と呼ばれる人達は、小さなことには目が奪われず、常に全体をながめています。季節の変化にしても、夏と秋とを別々に見るのではなく、「夏果てて、秋の来るにはあらず」と見ます。春は早くから夏の気配を催し、夏のうちに既に秋が入り込んで来ていると詠まれています。兼好法師はこのように自然を語っていますが、この世のことは実際のところみな微妙です。

自分の意見と彼の意見とは微妙に違う。これは誰もが経験することだと思います。また組織の中ではしばしば微妙な立場に立たされることがあります。物事の状態や関係が複雑で割り切れない場合や、美しさや味わいの趣が深いことを一般に〈微妙/びみょう〉と言いついています。ところが、仏教では「微妙」を呉音で発音して「ミミョウ」といい、言葉では言い尽くせない不思議で奥深い意味合いを表す語として用いています。

仏の大悲は「深遠微妙(じんのんみみょう)」であり、その説法は「微妙法音(みみょうほうおん)」であると表現されます。『無量寿経』には「普(あまね)く十方のために微妙の法を説きたもう」とあります。玄奘三蔵が訳した『説無垢称経(せつむくしょうきょう)』には「微妙なるはこれ菩提なり、極めて覚り難きが故に」と説かれています。仏教経典には人間の知識では知ることのできない不思議さを表す語として「微妙」が多く用いられています。

今日ではデリケートと同じ意味に〈微妙〉が用いられていますが、若い世代はこのようなニュアンスを「ビミョー」と表現しています。何とも判断がつかず、言いようが無いのが「ビミョー」なのです。「このケーキおいしい?」「うーん、ビミョー」。この「ビミョー」は判断を諦めているというよりも、むしろマイナス評価を含んでいるように思われます。今は評価の時代です。大学でも授業評価が行われますが、その項目に「ビミョー」を設けたらどうなるか試してみたいところです。「〇〇先生の授業は?」「うーん、やっぱりビミョー」、このようになるのではないのでしょうか。

もと絶賛の辞であった「微妙」が、負の意味を含む「ビミョー」に変化した。仏教では、至上の価値を示す「微妙」を「ビミョー」というのは、若者の皮肉か、心の優しさか、かくも日本語は微妙なのである。 合掌

住宅購入での土地利用制限 (Restriction on Use)」とは

Q: 土地や住宅に対し課されている「土地利用制限 (Restriction on Use)」とは何ですか?

A: 土地利用制限は、土地の使い方や建築内容を制限するために設けられた規定のことです。英語では“restrictive covenant”、“restriction on use of land”と呼ばれ、例えば「特定建材しか使用できない」「建物の高さやデザインに制限がある」「商業利用を禁止する」といった内容が定められている場合があります。これらの制限は、主に開発業者や地方自治体 (Council) によって設定され、分譲地全体の景観や資産価値を維持する目的で導入されます。

Q: NSW州ではどのように扱われていますか?

A: NSW州では、土地利用制限は法的に拘束力を持ちます。一般的には、土地所有権の登記簿に添付される「Section 88B Instrument」という方法で明記され、拘束力を持たせます。よって土地所有の条件として、次の所有者にも引き継がれることになります。つまり、前の所有者が設定した制限が、買主にも自動的に適用されるという仕組みです。もしこの制限に違反した場合には、・自治体や隣接地の所有者からの差止請求 (injunction)、・損害賠償請求 (damages)、・違反建築物の撤去命令などを受ける可能性があり、売却時に買主側が違反を発見すると、契約が進まなくなることも少なくありません。

Q: 違反した場合、必ず罰せられるのでしょうか?

A: 必ずしも即座に処罰されるわけではありませんが、長期的には深刻な問題に発展するおそれがあります。例えば、建築申請が認可されなかったり、将来の売却時に「既存の建物が制限に違反している」と指摘され、買主が購入を見送るケースもあります。

Q: 購入前にどのような点を確認すべきですか?

A: 契約前に必ず弁護士またはコンベヤンサーに依頼し、タイトルサーチやSection 88Bの内容を確認することが重要です。専門家であれば、・現存する建物が制限に違反していないか、・将来的に増改築を行う際、・どのような制限が課されるか、・近隣の同様な制限事例がどう扱われているかを精査することができます。

Q: 最後にアドバイスをお願いします。

A: 土地利用制限は、購入後の暮らしや投資の自由度に大きく影響します。知らずに違反すれば、思わぬ費用負担や法的紛争に巻き込まれるリスクもあります。購入・売却を検討する際は、必ず契約前に弁護士へ相談することを強くおすすめします。

●今月の表紙 Koko-en in Autumn, Himeji Castle

Located next to Himeji Castle, Koko-en is a beautifully restored Japanese garden that showcases stunning seasonal beauty - especially in autumn.

It features nine distinct sections, each reflecting Edo-period design, complete with koi ponds, tea houses, and meticulously manicured landscapes.

Come autumn, the garden comes alive with vibrant hues of red, orange, and gold as maple trees and other foliage reach their peak.

The fiery colours set against the refined architecture and the silhouette of Himeji Castle create an unforgettable, picture-perfect scene. Koko-en offers a serene escape that perfectly captures the essence of Japanese autumn.



Photo and comments by David Jang

編集後記

▼25週間で終わる予定のリノベーションが、なんと1年52週が過ぎてしまいました。雨が多かったので何となく容認していましたが、それにしても25週間の倍が経過しました。このままではリノベーションがいつ終わるの全くわかりません。ということで建築士にそれを告げ、ビルダーに話をしてもらうことになりました。ひと月以上すったもんだありましたが、ビルダーの健康面に問題が生じこれ以上仕事を続けていけないという理由により、契約の途中でビルダーを代えることになりました。ビルダーが破産した、ビルダーが逃げたという話は聞いたことがありますが、病気になるということもあるんですね。私のドリームホーム完成は近づいているのでしょうか？(青い鳥)

シドニー日本クラブ役員

名誉会長	在シドニー日本国総領事
相談役	Chalker 和子
会長	渡部 重信
副会長	Costello 久恵
副会長	水越 有史郎
理事	阿部 直子
理事	斉藤 なお子
理事	Hodgkinson 恭子
理事	堀場 健太
理事	葛西 哲也
理事	林 さゆり
専門理事	飯島 浩樹(親睦の会会長)
専門理事	Murn 薫(編集委員会編集長)
専門理事	Costello 久恵(シティ校代表)
専門理事	小柳淳子(ダンダス校代表)
専門理事	水越 有史郎(教育支援委員会・エッジクリフ校代表)
事務局	松隈 由紀子(事務局長)・Richter 幸子(会計)
監事	岩佐 いずみ(会計監査)・多田 将祐(会計監査)
クラブ代表	シドニーソーラン踊り隊(渡部 重信)
	JCSフラアロハ(Gault 良子)
	ソフトボール部(安達定儀)
編集委員会	マーン薫(編集長)・渡部重信・水越有史郎
	西牟田佳奈・佐藤 薫・大塚藤子・林由紀夫・多田将祐
	坂口 潤・斉藤なお子・大塚るる・松下友紀



投稿原稿募集！

会員の方の生の声を募集しています。本誌を読んでの感想や、誌面に対する注文、会に対しての要望、日頃

感じていることなど、何でも構いません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多いに役立ちます。また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。お気軽にお寄せください。

原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

JCSだより原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、マーン薫編集長宛に、またはJCS事務局宛に、Email(k.murn@jcs.org.au)か郵送にてお送りください。

JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057 電話:0421-776-052(9時~18時)
Email:jcs@japanclubofsydney.org(松隈由紀子)まで。

会員特典

JCSの会員の皆さんが受けられる特典です。
ぜひ、ご利用ください。

日本ブレーンセンターオーストラリア (NBCA)

Suite 23, 9 Milray Street, Lindfield 2070

Phone: 0404-027-407

Email: nbca.yamaguchi@gmail.com

www.nbca.com.au

担当: 人材 加藤、翻訳 山口

移民局に提出する戸籍謄本と書類の英語への翻訳をJCSの会員の皆様には20%割引で承っております。長期短期の人材紹介及び人材登録をきめ細かくお世話させていただいております。皆様のご連絡をお待ちしております。

甘利会計事務所

Amari Tax & Accounting

Suite 2, Level 2, 88 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9223-7448

Email: info@taxjp.com.au

新規顧客に特典

JCS会員の皆様のタックス・リターン申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。同時にお二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

ほんだらけ フル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool Street, Sydney 2000

Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com

Website: http://fullofbooks.com.au

シドニー最大の日本古書籍買取・販売店。海外にいても手軽に日本の本・CDなど選べる嬉しい店内在庫8万点をご用意しています。買い取りも随時受付中。

JCS会員の方へは、本・CD・DVDのお買い上げを5%特別割引致します。JCS年会費支払いのコピーをご提示下さい。(セール商品や化粧品など一部除きます、ご了承ください)

本誌広告案内

広告締切は毎月15日です。広告(掲載できるアートワーク)を、メールか郵送で、
jcs@japanclubofsydney.orgまたはPO Box 1690, Chatswood NSW 2057まで送付ください。

広告スペース	広告サイズ	料金 (1回のみ)	会員割引料金 (1回のみ)	会員割引料金 (6~11ヵ月)	会員割引料金 (12ヵ月以上)
1 ページ	横18cm×縦27.0cm	\$ 220.00	\$ 176.00	\$ 154.00 (月額)	\$ 132.00 (月額)
1 / 2 ページ	横18cm×縦13.2cm	\$ 132.00	\$ 99.00	\$ 88.00 (月額)	\$ 77.00 (月額)
1 / 3 ページ	横18cm×縦8.6cm	\$ 99.00	\$ 77.00	\$ 66.00 (月額)	\$ 55.00 (月額)
1 / 6 ページ	横8.7cm×縦8.6cm	\$ 55.00	\$ 44.00	\$ 38.50 (月額)	\$ 33.00 (月額)

広告を申し込む際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、完成された広告(正しい広告サイズで、読みやすく仕上がったアートワーク)を、事務局宛に郵送かメールでお送りください。銀行振込は以下の口座宛にお振り込みください。締切は毎月15日必着です。

※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。

※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

会費納入 料金 支払方法

■会費納入届または広告原稿を小切手と共にJCS事務局まで郵送する場合

小切手の宛名は「Japan Club of Sydney Inc.」をお願いいたします。

郵送先: Japan Club of Sydney, PO BOX 1690, Chatswood, NSW, 2057

■会費納入届または広告原稿を郵送またはメールで送り、会費を銀行振込する場合

振込時に、登録会員名(フルネーム)と電話番号をDescription/Reference欄に必ず入力して下さい。

お名前がない場合は、支払い元不明で未払い扱いになるためご注意ください。

振込先 Account Name: Japan Club of Sydney Inc. BSB No: 032-002 Account No: 51-3156

■会費納入届をオンラインでする場合 → <https://forms.gle/AD7bG13tdPCs2SJB8>

会員継続の場合は、会費納入届を
提出してください。
オンラインの場合は **こちら**